



📍 本社所在地 / 蒲郡市宮成町3-19

🔍 業務内容 / 眼鏡レンズ製造、光学薄膜部品製造、光学ユニット製造等

👤 従業員数 / 352人(男性 286人・女性 66人)

柔軟な働き方と挑戦文化が女性の力を引き出す

Interview



Q 女性が働きやすい職場づくりで取り組んでいることを教えてください。

伊藤: 我が社は小売店への納期の関係で、工場が土曜・日曜を含む3交代で稼働しています。工場勤務は3交代勤務が可能な人に働いてもらい、子育て中の女性は昼勤務だけにする対応をしています。お互いにいろいろな事情があることを理解して助け合う雰囲気づくりに取り組んでいます。間接部門はコロナ禍に導入したりモートワークを現在も行っており、子どもの病気の時などに活用しています。社内全体の有給取得日数は昨年度が平均12日と休みやすくなってきていますが、働き方の変革はこれからの課題です。

Q 女性の健康面へのサポートはありますか？

伊藤: 総務部では身体の冷えによる不調に気を配り、デスクの足元にヒーターを入れたり、生姜スープやホットカルピスなどを配ったりしています。飲み物やお菓子を手渡ししながらの雑談が社員達と気さくに話すコミュニケーションの機会にもなっていますね。

宮澤: 私も足元ヒーターを愛用しています。社長のおやつはいつもおいしくて嬉しいです。私たちのことをよく見てくれていると感じます。

伊藤: 制服をポロシャツに変えました。工場勤務の暑さ対策にもなり、動きやすく肩こりも減ったと社員から好評です。

Q 皆さんの声を聞きながら試行錯誤されているのですね。人材育成で取り組んでいることはありますか？

伊藤: 以前は外部に任せていた新人研修を総務部主体で行うようになり、研修期間中に新入社員の顔と名前、性格が分かるようになりました。マネージャーとチーフ向けの研修会も行っています。どの部署からも男女とも参加しています。

Q 宮澤さんの入社経緯をお聞かせください。

宮澤: 私はフィンランドでの研究活動を経て、豊橋技術科学大学で研究員をしていた時に、大学と伊藤光学工業が共同開発した色弱模擬フィルタ「バリエントール」のプロジェクトチームに加わったことがきっかけで入社しました。この眼鏡は色弱者が感じる色の見分けにくさを体験できるもので、看板や教科書などのデザイン作成時に活用されています。初めて出展した展示会での反響が大きく、その時の興奮を今でもチームメンバーでよく話します。研究を製品にして皆に届けられることが製造業の魅力だと感じます。

Q 素晴らしいですね！ほかにユニークな眼鏡を開発されたのですか？

宮澤: 県の東三河フェムテック産業推進事業に参画し、「映え顔メガネ・メイクレンズキュア」を開発しました。これはかけるだけでアイシャドウとチーク効果のある女性向けの眼鏡です。肌色に合わせたカラーバリエーションがあり、いろいろな

組合せができます。社内の女性開発チームと一般公募の社外アドバイザーが協働して開発しました。フェムテック事業のクラウドファンディングで展開し、好評をいただいています。他にもゴルフの芝目が見やすくなるレンズや、星空観察用の眼鏡なども開発しました。

Q 製品開発のアイデアはどんなことから生まれますか？

宮澤: メイクレンズはコロナ禍でうつうつとしていた時に、なにか楽しいことを考えたいと思ったのがきっかけです。面白そうなことに首を突っ込んでみると道が開けてきますし、他部署にも「いっしょにやろうよ」と声をかけながらまわりを巻き込んでいます。仲間が助けてくれるので子育てしながらでも働けてますし、どうかなと思いますね。

伊藤: フェムテック事業は我が社で女性向け製品開発ができるのか不安もありましたが、宮澤さんが以前開発した女性用レンズをヒントに取り組みました。社会に役立つモノづくりに挑戦していくことが大事ですし、挑戦し続けられる会社でありたいです。



宮澤佳苗さん
技術部 専任職

伊藤龍一さん
代表取締役社長